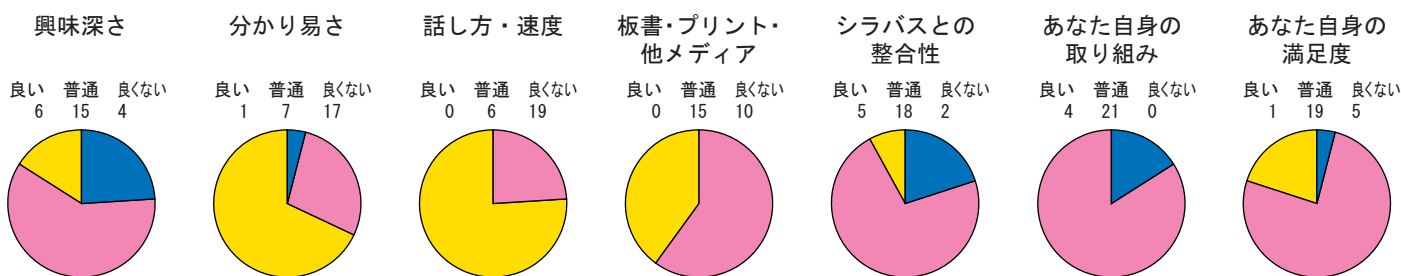


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「動物系統分類学実験Ⅱ」

回答者数：25名 履修申請生物学類生数：31名 (回答率80%)



良かった点

- ・カブトガニの実物が見られたこと。系統分類学の手法の基礎を学べること。▪
- ・貴重な動物に触ることができた。▪
- ・カブトガニをさわられたこと。▪
- ・コンピューターを使った実習はためになりました。▪
- ・自力で理解しようとすることができた。unixの活用法を見出した。▪
- ・実際に系統樹を考察するのは楽しかった。▪
- ・レポート作成のために、先生は質問に答えてくださって助かりました。今までの実験結果から、自分なりの系統樹を作成し、考察を加えるのはとても面白かったです。

改善すべき点

- ・シラバスとの整合性が無い。▪
- ・実験の説明があまりよくわからないときがあった。▪
- ・各実験について先生の説明がもう少し欲しい。統計学についての説明が欲しかった。▪
- ・説明が説明になっていない。とにかくわかりにくい。やることがなさ過ぎてすぐに実験が終わってしまう。先生が途中でいなくなって誰も質問に答えてくれる人がいない。
- ・説明をもう少し丁寧にしてほしい。▪
- ・説明がわかりにくい。▪
- ・説明がなさ過ぎて自分がなにをやっているのかわからない。
- ・先生の説明が下手。早口。▪
- ・配布したプリントについてもっと詳しく説明してください。
- ・全体的に説明不足です。また、実験中先生のいる時間が短すぎます。▪
- ・解説が無くやりにくかった。必要なプリントは一時に全部渡して欲しい。学生が実験している最中に先生が長時間席を立つのはどうかと思う。学生が暇だと感じる実験はおかしい。▪
- ・説明をもう少しきちんとしてほしい。実験内容の密度も低かったように感じる。▪
- ・あの実験内容では9回分は必要ないような気がします。▪
- ・先生の実験に対する説明が不足していたように感じました。カブトガニや、さまざまな実験的手法に対する専門的知識のない私たちにとって、先生がおもっているよりもそれらを理解するのは大変なことでした。▪
- ・資料をわたされて、放っておかれては、なにをしたらいいのかわかりません。わかりやすく解説を加えてほしいです。▪
- ・教官自身があまり理解していない内容を教えるのはいかなものか・・・。

担当教官のコメント